

News Release エス・マックス株式会社

東京都中央区日本橋 3-13-11 油脂工業会館ビル 2 階 TEL 03-5204-8720 FAX 03-5204-8722

2016 年 11 月 28 日

「オプジーボ緊急薬価改定に関する調査」結果のお知らせ

医薬品市場調査会社のエス・マックス株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 新谷 将司）は、この度、「オプジーボ®緊急薬価改定に関する調査」（以後、本調査）を企画・実施いたしました。

本調査は、11 月 16 日の中央社会保険医療協議会において「オプジーボ®（小野薬品工業）」の薬価を緊急的に平成 29 年 2 月から 50%引き下げることが了承されたことを受け、実際に臨床に携わる医師に対して今回の措置についての考え方を調査し、今後の製薬企業の経営戦略のあり方や患者視点に立った医療サービス提供の参考とする目的で実施いたしました。

本調査は、11 月 16 日に中央社会保険医療協議会でオプジーボ®の薬価引き下げが了承され、公開された後に、日常臨床においてがん治療を行っており、実際にオプジーボ®に関する情報提供を受けている医師 154 名から回答を得ました。

調査結果の主な内容としては、来年 2 月よりオプジーボ®の薬価が 50%引き下げられることについての医師の考えとして、**76.0%（117 人）の医師が肯定的に捉えている**ことがわかりました（否定的である 8.4%、中立である 15.6%）。また、肯定的である理由としては「**医療保険財政継続のため、必要なことであると思うから（63.2%：74 人）**」、「**使用経験上、効果と費用のバランスを考えると適切だと思うから（19.7%：23 人）**」との内容が上位に挙げられました。

また「肯定的」と答えた 117 人について、がん診療連携拠点病院等に勤務する医師（42 人）とそれ以外の医師（75 人）で見ると、**がん診療連携拠点病院等に勤務する医師は、「医療保険財政継続のため、必要なことであると思うから（45.2%：19 人）」、「使用経験上、効果と費用のバランスを考えると適切だと思うから（35.7%：15 人）」**であったのに対し、**がん診療連携拠点病院等以外に勤務する医師は、「医療保険財政継続のため、必要なことであると思うから（73.3%：55 人）」、「使用経験上、効果と費用のバランスを考えると適切だと思うから（10.7%：8 人）」**といった違いが見られました。

がん診療連携拠点病院等に勤務する医師は、自らの使用経験を踏まえた上で薬価引き下げを肯定的に捉えている割合が高いことに興味深く感じます。

エス・マックス株式会社は、先生方のご意見を収集・分析し、製薬企業をはじめとするヘルスケア領域に属する企業のニーズに応じて行くことで、社会に貢献すべく製品開発・サービスの向上に力を注いでまいります。

【調査概要】

1. 調査期間：2016年11月18日～11月22日
2. 調査サンプル数：医師154名
3. 調査手法：インターネット調査

【会社概要】

1. 会社名：エス・マックス株式会社
2. 代表者：代表取締役社長 新谷 将司
3. 本店所在地：東京都中央区日本橋3-13-11 油脂工業会館ビル2階
4. 主な事業内容：医師等の医療従事者を対象にした市場調査全般
5. 設立年月日：2003年6月30日

<本リリースに関するお問い合わせ先>

エス・マックス株式会社 担当 塚本 美智成（ツカモト ミチナリ）

TEL 03-5204-8720 FAX 03-5204-8722

E-MAIL r-support@smax.co.jp

s.maX